



第36回 明るいまちづくり住民大会

幕別町手づくりのまち推進委員会が主催する「第36回明るいまちづくり住民大会」が、11月25日に町民会館で開催され、町民ら120人が参加しました。

この大会は、住民自らが「明るく、豊かな、住みよい」地域を築くことを目指し、毎年この時期に開催されており、今年で36回目となります。今年の住民大会は、町郷土文化研究員の小助川勝義さんが町の歴史について講演しました。

小助川さんは、幕別にはかつて5つのアイヌコタン（集落）があったことや幕別の昔の地名である「止若^{ヤムワッカ}」の意味など、アイヌ語の地名について解説されました。この他、本州から幕別町に移り住んだ細谷十太夫さんの町開拓の歴史などを語り、参加者は真剣

な表情で聞き入っていました。

講演後は、学校や養護施設などを中心に演奏活動を行なっている「WIND'S」(青野晴彦代表)の皆さんによる40分間のミニコンサートが行われました。

「およげ！たいやきくん」や美空ひばりさんのメドレーなど、誰もが一度は耳にしたことのある曲が多く演奏され体を揺らしながら楽しむ、参加者の様子が見られました。

また、1階ロビーでは、同委員会が花いっぱい運動の一環として毎年行っている「ガーデニング写真展」も同時に開催されました。

今年は41点の素敵な花壇の写真が展示され、訪れた手足を止めて入ってました。



▶若原会長のあいさつ



▶会場の様子



▶「幕別の歴史について」講演する小助川勝義さん

止若とは・・・アイヌ語でヤムワッカピラ（冷たい水の出る崖）が由来。ピラは「崖」